

TICADV行動計画の構成要素

冒頭

行動計画は、宣言に基づき、TICADV参加者が2013－2017年の5年間で重視すべき事項・目標と具体的行動を記載した文書。行動計画全体を通じてアフリカ自身の努力、女性と若者の役割、人間の安全保障の三点を特に重視。

1. 経済成長の促進

- (1) 貿易と投資: 域内貿易の促進、投資環境改善、持続可能な資源開発
- (2) 官民セクター開発: 資金アクセスの改善、中小企業振興

2. インフラ整備・能力強化の促進

- (1) インフラ整備: エネルギー、運輸等の基幹インフラ整備、民間資金の活用(PPP)
- (2) 人材育成: 雇用につながる教育(ポスト基礎教育等)、科学技術・理数教育強化、行政官の育成
- (3) 科学技術・イノベーション: 研究機関強化

3. 農業従事者を成長の主人公に

- (1) 農業: バリューチェーン整備、小農の収入向上、民間投資促進、自然災害等に対する強靱性向上
- (2) 食料安全保障、栄養: 食料(特にコメ)の生産向上

4. 持続可能かつ強靱な成長の促進

- (1) 環境・気候変動: 生物多様性保全、気候変動への適応・低炭素成長
- (2) 防災: 防災の主流化、自然災害に対する強靱性向上

5. 万人が成長の恩恵を受ける社会の構築

- (1) 教育: 教育の質及び教育へのアクセス向上
- (2) 保健: 保健システム強化、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進、母子保健
- (3) 水・衛生: 持続可能な水資源・衛生管理、安全な水・衛生施設へのアクセス

6. 平和と安定、民主主義、グッドガバナンスの定着

- (1) 平和と安定のための組織能力強化: アフリカ自身の取組支援
- (2) 紛争予防、紛争解決、平和の定着: 復興・安定化支援、平和維持活動、国連安保理改革
- (3) 国境を越えた問題: テロ対策・海賊対策
- (4) 民主主義とグッドガバナンス: 行政能力強化、選挙支援

7. フォローアップ・メカニズム

共催者による事務局、モニタリング合同委員会、フォローアップのための会合(高級実務者レベル及び閣僚レベル年1回ずつ、首脳レベルを5年に1回)

別表

日本、アフリカ、国際機関、ドナー国等の具体的行動を記載